



木々の緑と、爽やかな風が気持ちいい季節になりました。皆さんは、授業や部活動が本格的に始まり、学校生活にも慣れてきた頃だと思います。今月は、図書室を利用する時に知っているのと役に立つ、本の分類方法について紹介します。

## にほんじっしんぶんるいほう 日本十進分類法

0類	総記	
1類	哲学・宗教	
2類	歴史・伝記・地理	
3類	社会・文化	
4類	自然科学・医学	
5類	工業・技術・家庭	
6類	産業・交通・通信	
7類	芸術・体育・遊び	
8類	言語	
9類	文学	
Ⓜ	絵本	

拡大すると...



背表紙にある番号が本の内容を表しています。

**9** 13 ← 分類番号 「キュウイチサン」と読みます。

**ア** ← 図書記号 書いた人の頭文字です。

**2** ← 巻冊記号 シリーズや全集などの順番を示します。

図書館では、この番号が本の住所になります。



### ◆学級文庫◆



学級文庫は、図書室で選んだ30冊の本を図書委員が月に一回、図書室から教室まで運んでいます。これは図書室までなかなか来ることができない人にも、本を読んでもらいたいからです。ぜひ活用してください。

#### 〈学級文庫の本を借りる時のルール〉

本を家に持ち帰る時は、図書委員に声をかけ、ケース近くにある「学級文庫貸出票」の本のタイトルの横に氏名を記入し、返却期限を図書委員に書いてもらってください。学級文庫の紛失を防ぐため、ご協力をお願いします。



### 【あじさい文庫】を知っていますか？

あじさい文庫は、町立図書館から毎月借りている本のことです。後ろの入り口から入って目の前にある新刊図書の本棚の上に展示しています。多古中学校にはない、いろいろなジャンルの本を選んでるので、図書室に来たときにはチェックしてみてください。

この本、読んでみませんか？ (学校司書 吉野のおすすめ)

### 『教科書の外で出会う、ぼくらの身のまわりの理科』うえたに夫婦：著 ガリレオ工房：監修

皆さん、普段なにげなく生活しているなかで不思議に思っていることはありませんか？例えば、“なぜ森の空気がおいしいのか？”や“虹はどのようにしてできるのか？”などです。こうした身近な疑問を、主人公の中学生ポコ太の夏休みの体験を通して、わかりやすく解説しています。ほとんどがマンガで描かれているので読みやすく、理科がちょっと苦手な人でも、楽しく読める一冊です！

